



いちき串木野市医師会 広報誌
医師会立脳神経外科センター



a joint undertaking

vol.22

平成31年1月15日発行

ちくら

医療コラム

おしえて! ドクター

脳血管障害 について

脳神経外科センター 副院長

石丸 浩一先生 P4・5

第1回 解離性脳動脈瘤

新年のご挨拶	P2
いちき串木野市在宅医療・介護連携推進事業の取組について	P3
RUN 伴+に参加しました	P6・7
地域医療を支える 医師会会員病院紹介	P8・9
みんなの掲示板	P10
編集後記	P10



冠嶽神社

脳血管障害について

第1回 解離性脳動脈瘤

脳の正常な動脈は内側から内弾性板、中膜、外膜の三層の構造で、正常の内弾性板は血圧600mmHgまでの圧に耐える、動脈壁の一番強い構造です。動脈解離は、内弾性板に大きな裂け目が出来て中膜の中に血流が進入することで生じます。40～60歳が好発年齢と言われており、脳の解離性脳動脈瘤は椎骨動脈に発生することが多く(80～90%)、解離時にうなじから後頸部に強い痛みが出現します。この時の痛みは突然の痛みが多いですが、出血しなければ自然と治まるようです。

解離してもすぐに、くも膜下出血を起こすわけではありません。しかし、解離が進行すると、くも膜下出血や脳梗塞を起こしたりしますが、自然と修復することもあります。

くも膜下出血を起こした場合、再破裂する可能性が非常に高いので、可能な限り緊急での手術となりますが、社会復帰できるのは半分程度と言われております。

くも膜下出血を起こした患者様は血管内手術で解離部分全体の閉塞を行います。(正常血管も閉塞する治療のため、症例によっては出来ないこともあります)

62才の男性で頭痛と意識障害で搬送。くも膜下出血と診断され、血管撮影で解離性脳動脈瘤認め(図1)、血管閉塞術施行(図2)。



(図1) 発症時

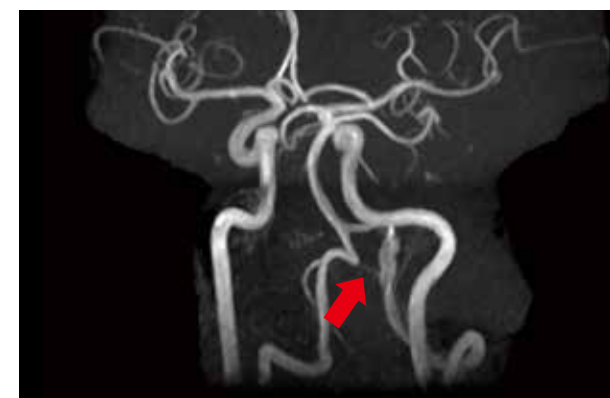


(図2) 治癒後

当院には、頭痛の精査で来られて、MRIという検査で解離が見つかる方が3～5名/年いらっしゃいます。自然修復することを目標に、見つかった場合は、安静のための入院を勧め、降圧剤を飲んで頂き厳格な血圧コントロールを行います。最初の2週間は解離部分が変動し易いので適宜MRIでフォ

ローします。その後、頭痛が出なくなり、ほとんどの方が2～3ヶ月程度で自然修復することが多いです。

自然治癒例 図3:受診時、図4:修復過程(3ヶ月後)、図5:治癒(現在)。



(図3) 受診時



(図4) 修復過程(3ヶ月後)



(図5) 治癒(現在)

急な頭痛が出現したときは念のためMRIでの検査を受けることを勧めます。

脳神経外科センター 副院長
石丸 浩一 先生



? RUN伴+って？

今まで認知症の人と接点がなかった地域住民と認知症の人や家族、医療、福祉関係者が一緒にタスキをつなぎ、日本全国を縦断するイベントです。11月11日いちき串木野市でも開催されました。

脳神経外科センターをスタートし、吹上園ふもと、セブンイレブン串木野インター前、さのさ館、おじゃんせ駅前、iテラス、あんずの家、もぜ、さるびあ苑、丸田病院を經由して、まちなかサロンがゴールです。

ラントモ プラス RUN伴+に参加 しました！



スタート前に！

風景を楽しみながら走ります！



さのさ館前で記念に！



本当にいい天気！



iテラス前！

当日は天気もよく絶好のRUN伴+日和となりました。今年も参加者・ボランティアを含め笑顔がいっぱい！

みんなでタスキを
繋いで
いちき串木野市内を
走ります



まちなかサロンでゴール！



ゴールまであと少し！

医療法人親貴会

えんでん内科クリニック



◆ 内科・小児科他

当院の理念・方針

☆理念

地域とともに歩む医療
愛と誇りをもって信頼されるクリニックを目指します。

☆基本方針

- ①患者様や家族とともに取り組む医療
- ②職員がともに尊重しあい協力して行うチーム医療

☆基本方針

- ①患者様のかかりつけ医として地域に貢献します。
- ②患者様の権利を尊重しプライバシーの保護に努めます。
- ③人材育成に取り組み愛のある医療を提供します。

院 長 / 海江田 正史

住 所 / いちき串木野市東塩田町 35 番地

電 話 / 0996-32-7000

診療時間 / 【月・火・木・金】

午前 8:30～12:30

午後 13:30～17:30

【水】

午前 8:30～12:30

午後休診

【土】

午前 8:30～12:30

午後 13:30～15:30

休 診 日 / 日、祝、お盆、年末年始

診療案内

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午 前	○	○	○	○	○	○	×
午 後	○	○	×	○	○	15:30まで	×

医療法人芳清会

串木野内科・循環器科



◆ 内科・循環器科・呼吸器内科

院 長 / 有川 清猛

住 所 / いちき串木野市中尾町 72

電 話 / 0996-33-2211

診療時間 / 【月・火・水・金・土】

午前 9:00～13:00

午後 14:00～17:30

【木】

午前 9:00～13:00

午後休診

休 診 日 / 日、祝、木曜午後

診療案内

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午 前	○	○	○	○	○	○	×
午 後	○	○	○	×	○	○	×

平成元年設立、ベッド数 19 床の有床診療所です。
「継続は力なり」「暖かい心のこもった診療」をモットーに院長をはじめ、スタッフ同心掛けています。

標榜科目でもあります循環器科の草分けとして地域医療の最前線を担って 25 年経過いたしました。開院当時はまだ循環器という名称は珍しく市民の方々にみられていたと思います。

現在、介護保険分野では、グループホームさくらの丘も立ち上げ、常勤医 1 名、非常勤医 3 名体制で、心疾患を主に、内科一般に取り組んでおります。いちき串木野市医師会の先生方はもとより、鹿児島大学病院、鹿児島医療センター、鹿児島市立病院、川内市民病院、済生会川内病院と幅広く連携し地域住民の健康管理、治療に邁進する所存です。

医療法人親貴会

理事長 海江田 正史

鹿児島県いちき串木野市東塩田町 35 番地

TEL0996-32-7000 / FAX0996-32-7177

私どもの法人は、こどもさんから高齢者の方々までの医療福祉に関係する全ての分野にわたり、利用される方々の個性、人間性を受け入れ、御支援と協力を目的とし、常に努力、向上していく組織でございます。



えんでん内科 リハビリテーション



介護老人保健施設 ゆくさ白浜



グループホーム もぜ



小規模多機能ホーム 小瀬倶楽部



シニアハウス おじさん駅前



グループホーム てね



児童発達支援センター てんがらかん
放課後デイサービス てんがらかん



放課後デイサービス てんがらかん



障害者グループホーム やうちや



多機能型事業所 てんがかん



就労支援施設 せつぱかん



医療法人 芳清会

グループホーム さくらの丘

管理者 前夷 友則

鹿児島県いちき串木野市生福 8974 番地

電話 0996-21-2777 FAX 0996-21-2778



当グループホームは、静かで緑豊かな環境のもと、各フロアからは季節ごとに変化する木々や実になる果実も観賞ができ、また野鳥の囀りも聞こえ自然を楽しみながら、2 ユニットで生活しています。

平成 17 年 11 月に開設し「明るい笑顔を大切にします。自分らしい生活を支えます。地域との連携、交流、共存をめざし、人としての尊厳と自立を尊重した、介護支援を行います。」の理念を掲げ、スタッフ一同ご利用者様のご希望に添えられるような支援に日々努めております。

午前、午後と簡単な体操もしくはレクリエーション。2 カ月に 1 回の行事に加え、誕生会、初詣、花見、父、母の日、敬老の日・・・等そして地域の行事参加と楽しんでいただけるように提供しています。

医療に関しても 24 時間医療連携体制にて、母体串木野内科・循環器科院長往診、看護師健康管理にて、ご利用者様、ご家族様に安心していただけるように努めています。

食事は母体管理栄養士による献立、指導のもとバランスのよい食事を提供しております。

どんなところかな？または見学、相談等いつでも受付けておりますので、お近くにお越しの際は、ご遠慮なくお立ち寄りください。

みんなの掲示板

回復期大運動会を開催しました

11月5日、毎年恒例の回復期大運動会を開催しました。約2ヶ月前から係のメンバーが中心となり「安全に・楽しく」をモットーに準備を行いました。選手宣誓役の患者様方も、何日も前から練習を重ねて下さいました。一生懸命選手宣誓の練習をして下さる姿を見て、「良い運動会にしたい」と強く思いました。

運動会への参加に消極的だった患者様も当日になると楽しそうに、また、少し照れながらはちまきを巻いて、廊下でスタンバイをする姿がありました。力強い選手宣誓で運動会スタート。玉入れ、綱引き、お菓子大好き競争、紅白リレー、パン食い競争（スタッフ競技）の全5種目を行いました。大きな声を出したり、走ったり、笑ったりと患者様の姿は一生懸命で、楽しそうで、普段見る事ができない表情や動きをみる事ができました。

この運動会という行事が患者様やご家族の中で良い思い出として残り、少しでも入院生活の励みになればと思います。

回復期病棟 看護師 山下ゆき乃



編集後記

新年あけましておめでとうございませう。平成最後のお正月は如何でしたか。表紙は新たな年の始まりをイメージして冠嶽神社の鳥居を掲載しました。年末年始は、寒い日が続きましたが、インフルエンザやノロウイルスなど流行ってきますので感染予防対策に心掛けて下さい。

当院より新年の挨拶を掲載させていただきます。今回の広報誌では、いちき串木野市在宅医療・介護連携推進事業の取組、医療・介護連携推進事業の取組、脳血管障害の解離性脳動脈瘤について「解説」させていただきます。又、RUN伴十は昨年開催したRUN伴の姉妹イベントで主催団体は異なりますが理念は同じで今回も多くの方が参加がありました。医師会会員病院紹介では、医療法人芳清会 串木野内科・循環器科、グループホームさくら丘と医療法人親貴会えんでん内科クリニックを掲載しています。最後に当院の回復期大運動会の記事を掲載しています。ご一読いただければと思います。

今年も地域住民が安心して暮らせる地域づくりに貢献できるようにスタッフ一同頑張っていきたいと思ひます。

文責 内